

2019年2月21日
日本銀行大分支店



大分県内の景気動向

2019年2月公表分

本資料は当店ホームページにも掲載しています。

<http://www3.boj.or.jp/oita/index.html>



〈本件に関するお問い合わせ先〉

総務課 (TEL : 097-533-9106)

(FAX : 097-538-7085)

E-Mail : ooita@boj.or.jp

(景気の現状判断と先行きの見通し)

大分県内の景気は、基調としては緩やかに回復している。

個人消費は、全体として底堅さを増している。この間、観光は、持ち直しつつある。住宅投資は、増加に転じつつある。公共投資は、増加している。設備投資は、弱含みとなっている。

鉱工業生産は、持ち直している。

雇用・所得面をみると、労働需給は着実な引き締まりを続けている。この間、雇用者所得は、振れを伴いつつも、基調としては緩やかに増加している。

金融面では、預金・貸出金ともに増加している。この間、銀行の貸出約定平均金利は低下傾向にある。

大分県内の景気の先行きは、観光が回復に向かうもとで、前向きな循環がみられつつある家計部門を中心に、緩やかな回復の動きを続けるとみられる。

今後については、①海外の政治経済情勢に関する不確実性や地政学的リスクが県内経済に直接・間接的に及ぼす影響、②企業部門の収益動向とそれを踏まえた設備投資スタンスや、人手不足が進むもとでの企業の賃金設定スタンス、について注視していく必要がある。

＜景気動向の総括表＞

		前月 (2019年1月)	当月 (2019年2月)	景気の方 向感	前月から の変化
総括判断		基調としては緩やかに回復している。	基調としては緩やかに回復している。	↗	据え置き
需要項目	個人消費	全体として底堅さを増している。	全体として底堅さを増している。	⇒	据え置き
	観光	持ち直しつつある。	持ち直しつつある。	↗	据え置き
	住宅投資	増加に転じつつある。	増加に転じつつある。	↗	据え置き
	公共投資	増加している。	増加している。	↗	据え置き
	設備投資	弱含みとなっている。	弱含みとなっている。	↘	据え置き
鉱工業生産		持ち直している。	持ち直している。	↗	据え置き
雇用・所得	労働需給	着実な引き締まりを続けている。	着実な引き締まりを続けている。	↗	据え置き
	雇用者所得	振れを伴いつつも、基調としては緩やかに増加している。	振れを伴いつつも、基調としては緩やかに増加している。	↗	据え置き

1. 個人消費

個人消費	<p>全体として底堅さを増している。</p> <p>—— 非耐久消費財において、暖冬の影響から衣料品の動きが鈍かったものの、乗用車や家電など耐久消費財において、買い替え需要等から堅調に推移している。</p>
観光	<p>持ち直しつつある。</p> <p>—— 県内の宿泊客数は、このところ国内客を中心に前年を上回っている。</p>

(参考)

大型小売店等	暖冬の影響から衣料品の動きが鈍かったものの、靴やアクセサリ、化粧品などでは堅調に推移しており、全体として底堅く推移している。	
コンビニエンスストア	品揃えの拡充や新たな需要層の獲得などの販売施策から増加傾向を続けている。	
専門量販店	ドラッグストア	新規出店効果から増加している。
	ホームセンター	他業態との競合などから、弱めの動きとなっている。
	家電大型専門店	堅調な買い替え需要を背景に、基調としては増加を続けている。
乗用車新車販売	緩やかに増加している。	

2. 投資（住宅・公共・設備）

住宅投資	<p>増加に転じつつある。</p> <p>—— 貸家は、基調としては横ばい圏内で推移している。一方、持家・分譲戸建は、増加している。この間、分譲マンションは、横ばい圏内で推移している。</p>
公共投資	<p>増加している。</p> <p>—— 公共投資は、災害復旧工事を中心に増加している。</p>
設備投資	<p>弱含みとなっている。</p> <p>—— 18/12月短観における18年度設備投資計画をみると、全産業では前年度比▲23.7%の減少計画となっている（製造業：前年度比▲27.4%、非製造業：同▲14.1%）。</p> <p>—— 18/12月の建築物着工床面積（民間非居住用）は、前年を下回った。</p>

3. 生産

鋳工業生産

持ち直している。

- 鋳工業生産は、素材業種で高水準の生産が続いているほか、加工業種で輸送機械が増加しており、持ち直している。
- 大分税関支署管内の輸出額は、増加基調にある。

4. 雇用・所得

労働需給

着実な引き締まりを続けている。

- 有効求人倍率が上昇基調にあるほか、短観の雇用人員判断 D.I.も大幅な「不足」超の状態が続いているなど、全体としてタイト化の傾向にある。

雇用者所得

振れを伴いつつも、基調としては緩やかに増加している。

- 雇用者所得（1人当たり現金給与総額×常用労働者数）の内訳をみると、現金給与総額、常用労働者数ともに、振れを伴いつつも前年を上回って推移している。

5. 物価

消費者物価	消費者物価指数（大分市、生鮮食品を除く総合）の前年比は、1%程度となっている。
-------	---

6. 金融

預金	増加している。 —— 大分県内における実質預金残高（含む譲渡性預金、都銀・地銀・地銀Ⅱ・信託<信託勘定を除く>・信金・信組の合計、末残ベース）は、法人預金・個人預金ともに増加している。
貸出金	増加している。 —— 大分県内における貸出残高（都銀・地銀・地銀Ⅱ・信託<信託勘定を除く>・信金・信組の合計、末残ベース）は、法人向けおよび個人向け貸出を中心に増加している。
貸出金利	低下傾向にある。 —— 大分県内における貸出約定平均金利（総合・ストックベース、都銀・地銀・地銀Ⅱの加重平均）は、低下傾向にある。
企業倒産	低めの水準で推移している。

<当店のホームページのご案内>

(当店ホームページのトップページ)

<http://www3.boj.or.jp/oita/index.html>

(大分県内の景気動向)

<http://www3.boj.or.jp/oita/kohyo/geppou.html>

(短観)

<http://www3.boj.or.jp/oita/kohyo/tankan.html>

(特別調査レポートのご案内)

http://www3.boj.or.jp/oita/kohyo/tokubetu_repo.html

(支店見学のご案内)

http://www3.boj.or.jp/oita/tennai_kengaku/kenngaku_annai.html

<当店が公表している特別調査レポートの一覧>

- [大分県の人口減少の緩和に向けて](#)(18年11月28日公表)
- [大分県内のキャッシュレス決済に関する現状整理](#)(18年10月25日公表)
- [観光消費の促進に向けた着眼点](#)(18年10月11日公表)
- [成長力強化が期待される大分県の農業](#)(18年6月19日公表)
- [イノベーションを捉え始めた県内製造業](#)(18年4月2日公表)
- [民泊の本格解禁に向けた県内の動き](#)(18年2月21日公表)
- [事業承継は県内企業の飛躍のチャンス](#)(18年1月24日公表)
- [収益力強化に向けた設備投資の一手](#)(17年11月22日公表)
- [平成29年台風第18号による大分県経済への影響と今後の見通し](#)(17年10月18日公表)
- [付加価値拡大に向けた県内企業の取り組み](#)(17年9月14日公表)
- [平成29年7月九州北部豪雨による大分県経済への影響と今後の見通し](#)(17年8月23日公表)
- [人手不足時代を乗り切るための5本の柱 ～県内企業の対応状況と今後の課題～](#)(17年6月19日公表)
- [大分県の底力 ～熊本地震から1年を迎えた大分県観光の現状と今後の展望～](#)(17年4月18日公表)
- [原油価格に対する感応度が全国よりも低い大分市の消費者物価](#)(17年4月18日公表)
- [大分県と海外経済の繋がりを読み解く ～米国・EU・アジアにおけるリスクと県経済へのインパクト～](#)(17年3月17日公表)
- [着実に改善している大分県の労働需給](#)(17年2月15日公表)

以 上